



医療保険制度の一本化など 全10項目を国と県へ要望

国保制度改善強化久慈大会

七月二十三日、国保制度改善強化久慈地区大会は国民健康保険久慈地区協議会（会長・久慈義昭久慈市長）主催で、村自然休養村管理センターで行われ、国への要望は、制度改善に関する問題が三項目、財政に関する問題が四項目、県への要望は、保健・医療・福祉対策に関する問題が三項目と国、県合わせて全十項目が承認されました。安心な医療確保で将来を明るく展望するためにも必要な国保制度です。今月号では、その要望内容をご紹介します。

国への要望は7項目 安心な医療確保を！

国保制度改善強化久慈地区大会には、久慈広域六市町村の国保運営協議会委員ら約三十人が出席しました。

国への要望として▽医療保険制度の一本化を国の方針として明確にする▽新しい高齢者医療制度の創設にあたっては国保制度の維持改善に配慮する▽診療報酬・薬価の見直し等医療費適正化対策を強力に推進する▽国保財政の長期的な安定を図るため国庫負担を引き上げる▽介護保険及び国保の運営に支障をきたすことのないよう十分な財政措置を講ずる▽国保保健事業に

対する助成措置を充実強化する
▽国保診療施設に対する助成措置を充実強化する一の七項目を承認しました。

保健・福祉対策など 3項目は県に要望を

県への要望は▽総合的な保健医療福祉施策を強力に推進する▽国保診療施設に対する医師確保対策を充実強化する▽健康ステップアップ運動に対する支援を強力に行う一の三項目です。

深渡宏村長は「村では地域住民のための医療確保や健康保持増進など、いろいろな取り組みを強力に進めています。医師養

成もそのなかの一つです。本年度は、保健婦を一人増員してあります。財政支援など課題はありますが初期の目的が達成されますように」と、祝辞を述べました。

長寿の秘けつは食事 体調に合わせ献立を

大会終了後、「芽生芽木いきいき 明日の元気は今日の食事から」と題して県久慈保健所の間瀬範子上席栄養士が講演し「女性が男性に比べて平均寿命が長いのはもって生まれた寿命もあると思うが、自分の体調に合わせた食事を作る。このことが長生きの秘けつになっているのではないかと。男性の二十、三十代は朝食をとらない人が多いが、食事のバランスが悪く糖尿病になりやすい。食料は自給できるものを食べましょう」と、食材の選び方も含め食事の大切さを説き、講演を終えました。